

中学校生活最後の応援コンクール。私は絶対に優勝したいと思い、がんばってきました。しかし、練習を始めたころは学級のまとまりがなく、とても心配しました。大きな声が出ないことを注意すると雰囲気が悪くなったり、前日まで一度も通せなかったりして、優勝できるか不安ばかりが募りました。迎えた当日。それまでとは違い、37人の勝ちたいという気持ちが出て、今までにない力を発揮することができました。みんなの気持ちが一つになり、応援コンクールで優勝を勝ち取ることができました。私にとっても、みんなにとっても最高の思い出にすることができました。

3-2



今年の体育大会は団での取り組みが重視された体育大会でした。私たち赤団は賞を受賞することはできませんでしたが、それ以上のものを得ることができたと思っています。他学年が競技をしている時に誰一人休むことなくおなかの底から声を出し、熱く応援していたこと。他学年の競技が終わると元気よく「お疲れ様」と声をかけていたこと。これこそが本当の「団結」だと思います。赤団のみんなと一緒に馬鹿になれた、今までで一番の体育大会でした。

3-3



初めての体育大会で不安でも必死に仲間を応援した1年生。1年生を引っ張りながら3年生も引っ張られそうになるほどやる気のあった2年生。1、2年生を包み込み、全力を出し切った3年生。この3学年の誰一人欠けず、支え合い、つながることができたので桃団は優勝することができました。僕もこの体育大会はこれまでで一番全力を出し切り、燃えることができました。これからもこの最高で最強の桃団でたくさんの壁を乗り越えていきたいです。

3-4



僕は最後の体育大会で3組のみんなのために、そして応援コンクールで3組のみんなと優勝するために旗ふりの練習をしました。短い間の練習だったけど、本番当日までに僕と3組のみんなは応援コンクールで優勝したいと死ぬ気でがんばりました。本番、僕は3組のみんなのサポートとみんなの勝利のために一生懸命に旗をふりました。3年3組は優勝できなかったけど、努力したことは無駄じゃない。みんな本気で一番を目指してがんばったと思います。3組とやった応援コンクールは努力してうれしかったです。

7組

